あなたと大切な方の未来のために ユニオン投信 Union Asset Management

ユニオンファンド 月次レポート

第 199 号

追加型投信／内外／株式　分配金再投資専用ファンド

2025 年 6 月 5 日作成

MONTHLY TOPIC

なぜ「悪い話」ばかり気になるのか？

「食う」より「食われない」方が大事

食べなくても少しの間ならなんとかしのげますが、捕食者につかまったら一巻の終わりです。私たちにはリスクを避けたいという本能が備わっており、そうした情報を得るためのアンテナは元から高いと言えます。危険な話や怖い話には敏感で、危ないと感じたらまずは逃げるか隠れる。これこそが生き残るための戦略です。おいしい話よりも危ない話に敏感になるのはごく自然なことです。

「損を恐れず投資する」というのは本能に逆らう行為かも

怖がるという本能が無かったら、私たちの祖先は早々に命を落とし、私たちが生まれることもなかったかもしれません。損することの心理的ダメージは得することの喜びを大きく上回る、ということは、行動経済学の実証研究によっても示されています。投資に関して「損をしそうで怖くてできない」という若者が多いと聞きますが、とても惜しいと感じる一方、無理もないことだとも思います。怖がって投資しない若者を鼻でわらう人がいますが、それは違うでしょう。投資を始めるときに怖いと感じるのは普通なのです。

悪い話が目につくのに、株価は上がり続けてきた

投資に関する日々のニュースには確かにネガティブなものが多いと感じます。読者は危険を避けるために悪い話を欲しがるので、そうしたニーズにメディアが応えている、という面もあるかもしれません。「悪い話を伝えておきますから、どうか危険を避けてくださいね」というわけです。

ところが実際には、株価は長期的に上昇してきました。これは、良い話や素晴らしい事実の方が多かったからにほかなりません。いつまでも怖がって投資をしないのは、やはりもったいないことだと思います。

危険を避けたい本能を乗り越え、のんびり投資を続けましょう

危険を回避したがる本能は私たちに深くしみついていますから、理性を司る大脳新皮質が「おまえ怖がり過ぎだろ」といくら諭しても、言うことを聞いてくれるとは限りません。「長期で上がると言っても、時々は大きく下がる。いやだ、怖いよ～」という心の叫びに、熟練の投資家でさえ売ってしまう誘惑にかられることがあるものです。

そうした誘惑を乗り越えて来た人は、これからもきっと乗り越えて行けるでしょう。不安材料は多いですが、好材料もたくさんあります。避けるべきは慢心と過度の恐怖心。のんびり続けていくのが最善の道だと思います。

久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

ユニオン投信株式会社｜金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 1978 号 一般社団法人 投資信託協会会員

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

（2025 年 5 月末現在）

基準価額

38,601 円

純資産総額

142 億 61 百万円

期間別騰落率(%)

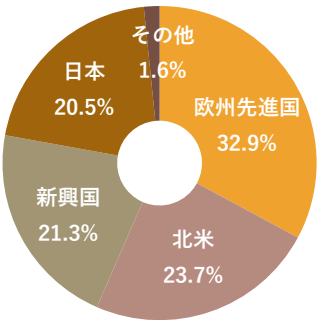
1 ヶ月	5.63%
1 年	-0.08%
3 年	30.94%
5 年	72.39%
10 年	67.73%
設定来	286.01%

複利年率(%)

8.47%

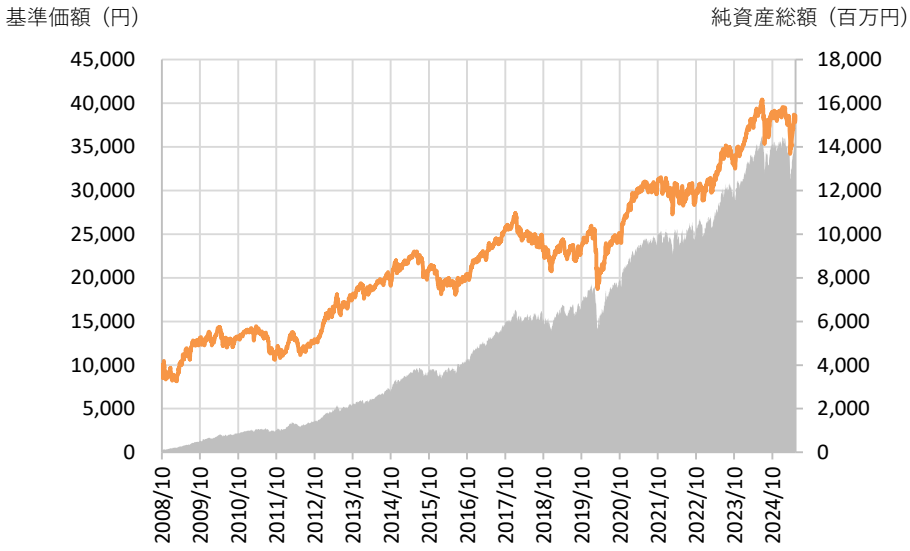
＊騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。
＊「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。
＊設定来、分配の実績はありません。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
（2025 年 4 月末現在）

基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.5%	5.0%
スパークス F	日本	12.6%	7.0%
キャピタル F	欧米	20.0%	8.2%
ハリス F	欧米	18.9%	6.1%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.6%	3.6%
コムジェスト・エマージング F	新興国	18.3%	7.9%
現金等	-	14.1%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

❶ 長期で「債券」の収益率を上回ると思われる「株式」に投資します

❷ 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します

❸ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します

❹ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します

❺ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性･完全性を保証するものではありません。また、記載された意見･見通し･評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2025 年 5 月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株価は、ドイツなど一部の市場が過去最高値を更新したのをはじめ、4 月上旬までの急落から順調に回復してきました。株価の上昇の背景は、最大の下落要因だった関税引き上げによる不安が後退したことです。

米国政権は相互関税を発表した直後に発動を 90 日間停止し、中国への関税率も大幅に引き下げました。その後も中国との交渉進展の観測が広がり、英国と貿易協定が締結されるなど、米国と各国の間でいくつかの交渉が進展しました。米国のトランプ大統領は、強硬措置で市場が荒れると政策を緩める戦術を繰り返しており、市場には「最悪の事態は避けられそうだ」との見方が広がりました。株価下落を先導した半導体などハイテク株の回復も全体の株価上昇に寄与しました。バイデン政権時に発動された半導体の輸出規制が緩和される方向となったことや、サウジアラビアが米国の大手半導体企業の製品を大量に注文したことなどのためです。関税引き上げにもかかわらず、インフレの再燃や雇用情勢の悪化があまり見られないことも投資家の不安をやわらげました。

為替市場では、米国売りの動きが一服したことを受けてドルは下げ止まりました。こうした中で、新興国通貨は米国の長期金利の反落や将来の利下げ期待などから堅調に推移しました。

運用の状況

ユニオンファンドは値上がりしましたが、市場よりも小幅な上昇にとどまりました。組入比率が低めであることや、上昇率が最大だった米国の比率が低く、高めの日本株の上昇が鈍かったこと、一部の組入ファンドが市場に劣後したことなどが背景です。売買は見送りました。月末の組入比率は前月の 85.3%から若干上昇し 85.9%でした。

今後の見通し

トランプ政権は市場が荒れると妥協に転じることが今後もありそうですが、貿易赤字削減などの目的達成のため関税政策自体を完全に取り下げることはないと思われます。一部で交渉は進展していますが、相互関税の停止期限が 7 月上旬に迫り、トランプ政権は妥結に向けて強気姿勢を前面に出してくるかもしれません。投資家は関税がらみの発表に耐える力をつけてきたものの、警戒を完全に解くことはないでしょう。

景気指標も今後は要注意です。関税がかかる前の商品を保管する倉庫（「保税倉庫」と呼ばれています）は争奪戦が続いているようですが、いずれ商品は倉庫を出て市場に流れ込んでくるはずです。関税発動前に輸入された商品が店の棚から無くなり、関税がかけられた商品に入れ替わるにつれて、物価は上昇していく可能性が大きいです。また、失業保険の申請数がじわじわと増加するなど、労働市場にもやや気がかりなサインが見えています。

市場では財政赤字・政府債務の拡大についても警戒され始めました。大手格付け機関の格下げ発表で、外国の年金などが米国の国債の保有を減らすために売却してくるとの見方があります。こうした動きが広がれば債券利回りは押し上げられ、将来の利払い負担がさらに膨らみかねません。減税論議ともあわせ注視したいと思います。

米国株は元の割高水準に戻ってきており、投資家心理もかなり改善しました。買い余力は低下していると見られます。4 月上旬の急落時の安値が今回の調整の底値と思われますが、当面は慎重な対応が必要と考えています。

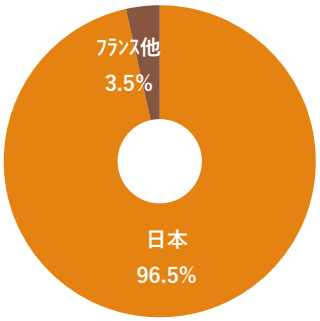
運用責任者　久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性･完全性を保証するものではありません。また、記載された意見･見通し･評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移

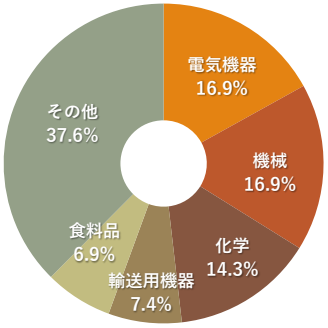
国別構成比



組入銘柄トップ10

	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	信越化学工業	3.7%	日本	化学	塩ﾋﾞ・ｼﾘｺﾝｳｴﾊｰ世界大手
2	ディスコ	3.0%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3	ダイキン工業	2.7%	日本	機械	ｴｱｺﾝ世界大手
4	ブリヂストン	2.7%	日本	ゴム製品	ﾀｲﾔ世界大手
5	セブン＆アイHD	2.5%	日本	小売業	大手総合小売業
6	INPEX	2.4%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
7	アサヒグループHD	2.3%	日本	食料品	大手酒類･飲料ﾒｰｶｰ
8	トヨタ自動車	2.2%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9	スズキ	2.1%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
10	花王	2.0%	日本	化学	ﾄｲﾚﾀﾘｰ首位
	上位10銘柄	**25.6%**		**現金等**	**19.2%**

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率　＜2025年5月末現在＞

スパークスF（スパークス・集中投資・日本株ファンドS）

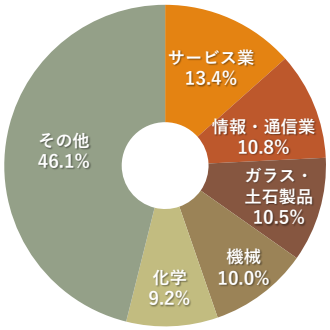
基準価額の推移

国別構成比(マザーファンド)

組入銘柄トップ10（マザーファンド）※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライフドリンク　カンパニー		日本	食料品	水、お茶、炭酸飲料
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	ｾﾗﾐｯｸ基板世界ﾄｯﾌﾟ
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ｽﾃｰﾌﾟﾗｰ
山洋電気		日本	電気機器	冷却ﾌｧﾝ･ｻｰﾎﾞﾓｰﾀｰ等
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ﾛｰﾝ保証会社
SBIホールディングス		日本	証券･商品先物取引業	金融持ち株会社
リログループ		日本	サービス業	企業の福利厚生代行･社宅管理等
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化･開発･賃貸等
テレビ東京		日本	情報・通信業	日本経済新聞系の民放
共立メンテナンス		日本	サービス業	寮事業･ﾎﾃﾙ事業
			現金等	**4.0%**

業種別構成比(マザーファンド)

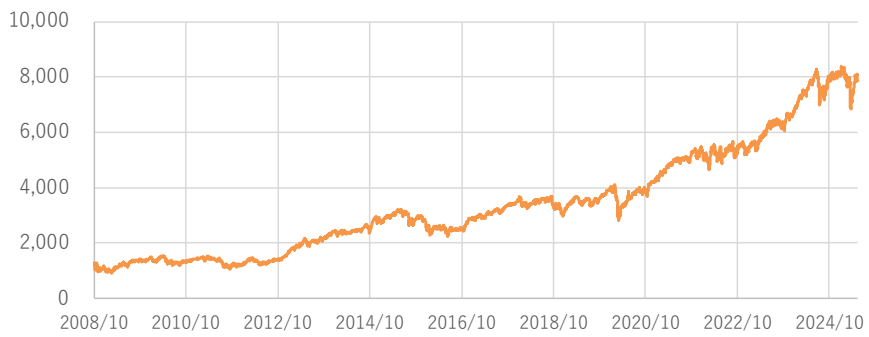


※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率　＜2025年4月末現在＞

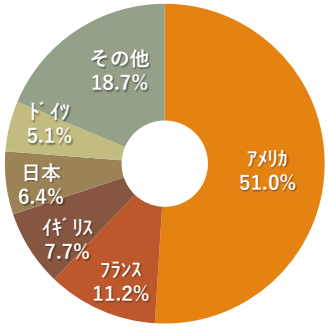
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性･完全性を保証するものではありません。また、記載された意見･見通し･評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF （キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ）

基準価額の推移



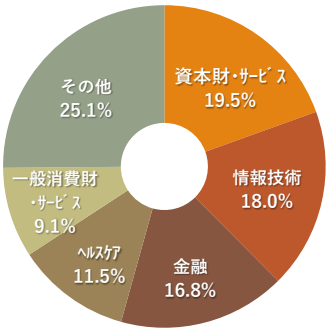
国別構成比



組入銘柄トップ10

	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	Microsoft	2.8%	ｱﾒﾘｶ	情報技術	世界最大のｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰ・ｿﾌﾄ
2	Broadcom	2.8%	ｱﾒﾘｶ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3	Alphabet	2.4%	ｱﾒﾘｶ	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ･ｻｰﾋﾞｽ	ｸﾞｰｸﾞﾙの持株会社
4	Apple	2.3%	ｱﾒﾘｶ	情報技術	ﾃﾞｼﾞﾀﾙ機器・ｿﾌﾄ大手
5	Safran	2.2%	ﾌﾗﾝｽ	資本財･ｻｰﾋﾞｽ	航空・宇宙・防衛用ｴﾝｼﾞﾝ等
6	JPMorgan Chase	1.9%	ｱﾒﾘｶ	金融	世界大手総合金融ｸﾞﾙｰﾌﾟ
7	SAP	1.7%	ﾄﾞｲﾂ	情報技術	ﾋﾞｼﾞﾈｽ向けｿﾌﾄｳｪｱ大手
8	TSMC	1.7%	台湾	情報技術	半導体ﾒｰｶｰ
9	AstraZeneca	1.6%	ｲｷﾞﾘｽ	ﾍﾙｽｹｱ	薬品会社
10	General Electric	1.6%	ｱﾒﾘｶ	資本財･ｻｰﾋﾞｽ	航空機ｴﾝｼﾞﾝ
	上位10銘柄	**21.0%**		**現金等**	**4.1%**

業種別構成比

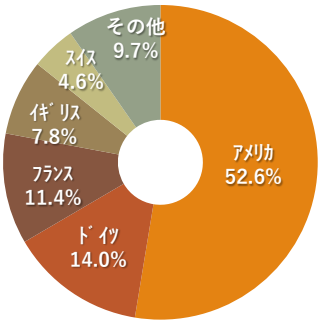


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率　＜2025年4月末現在＞

ハリスF （ALAMCOハリス グローバル バリュー株ファンド2007）

基準価額（分配金込み）の推移

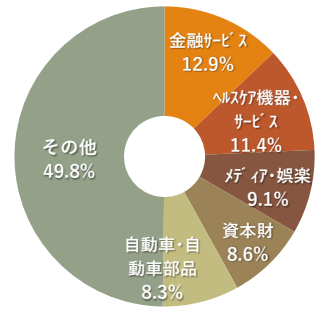
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 （マザーファンド）

	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	BNPパリバ	3.4%	ﾌﾗﾝｽ	銀行	ﾌﾗﾝｽ大手銀行
2	メルセデス・ベンツ	3.2%	ﾄﾞｲﾂ	自動車･自動車部品	自動車世界大手
3	ケリング	3.1%	ﾌﾗﾝｽ	耐久消費財･ｱﾊﾟﾚﾙ	高級ﾌｧｯｼｮﾝ･ﾌﾞﾗﾝﾄﾞ大手
4	アルファベット	3.0%	ｱﾒﾘｶ	ﾒﾃﾞｨｱ･娯楽	ｸﾞｰｸﾞﾙの持株会社
5	チャールズ・シュワブ	3.0%	ｱﾒﾘｶ	金融ｻｰﾋﾞｽ	資産運用、証券仲介、銀行業務等
6	バイエル	2.9%	ﾄﾞｲﾂ	医薬品･ﾊﾞｲｵ	大手化学医薬品ﾒｰｶｰ
7	シスコ	2.8%	ｱﾒﾘｶ	生活必需品流通･小売り	大手食品流通会社
8	グレンコア	2.7%	ｲｷﾞﾘｽ	素材	鉱山開発・商品取引
9	ﾁｬｰﾀｰ・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾞ	2.7%	ｱﾒﾘｶ	ﾒﾃﾞｨｱ･娯楽	ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞ、携帯電話
10	CNHインダストリアル	2.7%	ｵﾗﾝﾀﾞ	資本財	農機・建機ﾒｰｶｰ
	上位10銘柄	**29.7%**		**現金等**	**5.2%**

業種別構成比(マザーファンド)

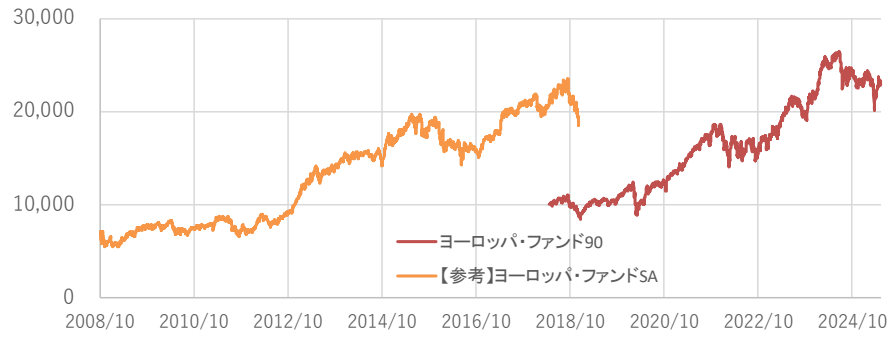


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率　＜2025年4月末現在＞

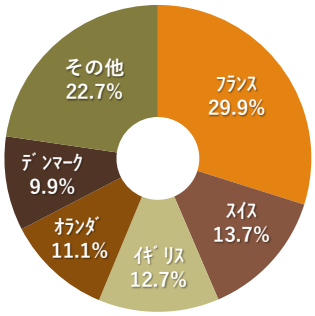
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性･完全性を保証するものではありません。また、記載された意見･見通し･評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF （コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド 90）

基準価額の推移



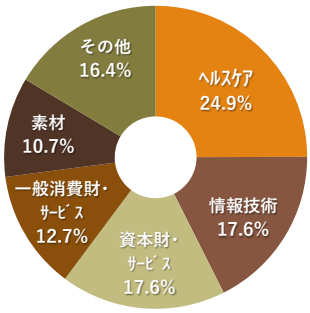
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 （マザーファンド）

	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	ASML	5.7%	ｵﾗﾝﾀﾞ	情報技術	半導体製造装置ﾒｰｶｰ
2	SCHNEIDER ELECTRIC	5.2%	ﾌﾗﾝｽ	資本財・ｻｰﾋﾞｽ	電気設備、ｴﾈﾙｷﾞｰ管理
3	AIR LIQUIDE	5.0%	ﾌﾗﾝｽ	素材	産業ガス世界大手
4	ALCON	4.5%	ｽｲｽ	ﾍﾙｽｹｱ	眼科医療機器・薬剤
5	ESSILORLUXOTTICA	4.3%	ﾌﾗﾝｽ	ﾍﾙｽｹｱ	光学製品
6	RELX	4.1%	ｲｷﾞﾘｽ	資本財・ｻｰﾋﾞｽ	ﾋﾞｼﾞﾈｽ顧客向け情報・分析
7	NOVO NORDISK	3.8%	ﾃﾞﾝﾏｰｸ	ﾍﾙｽｹｱ	糖尿病薬等世界大手
8	L'OREAL	3.8%	ﾌﾗﾝｽ	生活必需品	化粧品世界最大手
9	DASSAULT SYSTEMES	3.6%	ﾌﾗﾝｽ	情報技術	欧州大手3Dｿﾌﾄ会社
10	NOVONESIS	3.5%	ﾃﾞﾝﾏｰｸ	素材	食品用酵素・微生物等
	上位10銘柄	**43.4%**		**現金等**	**2.1%**

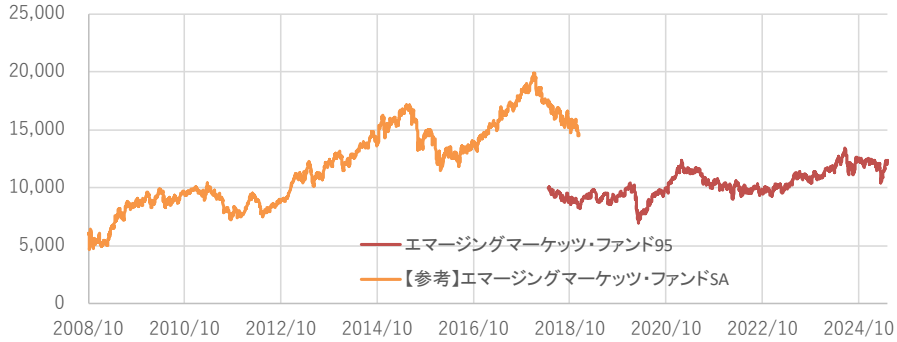
業種別構成比(マザーファンド)



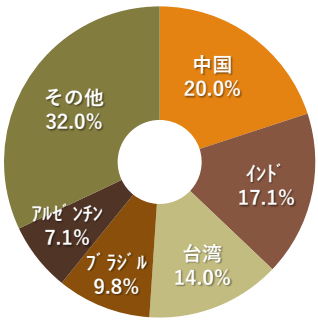
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 ＜2025年5月末現在＞

コムジェスト・エマージングF （コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド 95）

基準価額の推移



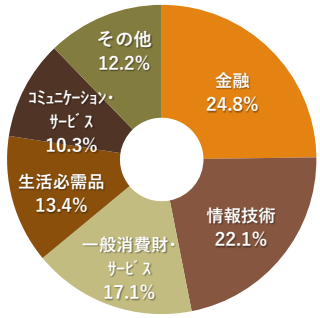
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 （マザーファンド）

	組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1	TSMC ADR	9.7%	台湾	情報技術	半導体ﾒｰｶｰ
2	TENCENT	6.4%	中国	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	ｿｰｼｬﾙﾈｯﾄﾜｰｷﾝｸﾞ等
3	MERCADOLIBRE	5.8%	ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ	中南米中心のEｺﾏｰｽ企業
4	DISCOVERY	3.8%	南ｱﾌﾘｶ	金融	南ｱﾌﾘｶの保険会社
5	DELTA ELECTRONICS	3.7%	台湾	情報技術	電源、変圧器
6	NETEASE	3.5%	中国	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ・ｻｰﾋﾞｽ	ｵﾝﾗｲﾝｹﾞｰﾑ
7	ANTA SPORTS	3.4%	中国	一般消費財・ｻｰﾋﾞｽ	ｽﾎﾟｰﾂｳｪｱ・ｼｭｰｽﾞ
8	LOCALIZA RENT A CAR	3.1%	ﾌﾞﾗｼﾞﾙ	資本財・ｻｰﾋﾞｽ	南米最大のﾚﾝﾀｶｰ会社
9	HDFC BANK	3.1%	ｲﾝﾄﾞ	金融	ｲﾝﾄﾞ最大手の住宅開発金融会社
10	ASML	2.9%	ｵﾗﾝﾀﾞ	情報技術	半導体製造装置ﾒｰｶｰ
	上位10銘柄	**45.3%**		**現金等**	**4.0%**

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 ＜2025年5月末現在＞

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届出いただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「お取引について」**よりご請求ください。

≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「お取引について」＞「登録情報変更用紙請求」ページ
https://www.unionam.co.jp/account/regipii_input/

① [入力フォーム]お客様の情報 をご入力

② [入力フォーム]必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力

③「入力内容の確認画面へ］＞ 内容ご確認の上「送信」ボタン

※「お客様コード（口座番号)」は、口座開設時にお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」(圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記以外の登録情報などに関すること（特定口座、NISA 口座、マイナンバー、お届出印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社ＨＰより弊社業務管理部までお問い合わせください。

目論見書の改訂について

2025 年 6 月 30 日にユニオンファンドの目論見書を改訂いたします。

◎ 同日以降、新たな交付目論見書、請求目論見書を弊社ホームページへ掲載いたします。

◎ 今回の目論見書改訂において重要な事項に変更はありません。

◎「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（ＴＥＬ：0263-38-0725）までお申し出ください。)。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性･完全性を保証するものではありません。また、記載された意見･見通し･評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申込手数料	お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。 ※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。
換金手数料	ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
信託財産留保額	ありません。
信託報酬	純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。 毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。 ［*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8%±0.3%（税込）］ ＊実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。 ※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。
その他の費用	上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。 ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。） ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。） ※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。